

板橋駅西口駅前広場 整備計画（中間まとめ）

目次

1. 板橋駅西口駅前広場整備計画とは 1

 1-1. 背景・目的 1

 1-2. 計画の位置づけ 1

2. 駅前広場整備の方向性 2

 2-1. 駅前空間の将来像 2

 2-2. 整備方針 2

 2-3. 取り組み 3

3. 道路線形について 4

4. デザインについて 6

5. 駅前広場の利活用について 8

6. 施設について 8

7. 今後の進め方について 9

1. 板橋駅西口駅前広場整備計画とは

1-1. 背景・目的

板橋駅西口周辺地区は、JR 板橋駅・都営三田線新板橋駅・東武東上線下板橋駅の3線3駅が徒歩圏内にあり、交通の利便性がとても高い地区である。さらに江戸時代は中山道の最初の宿場町として栄え、戦後には駅を中心に商店街が形成され、にぎわいのあるまちとして発展してきた。

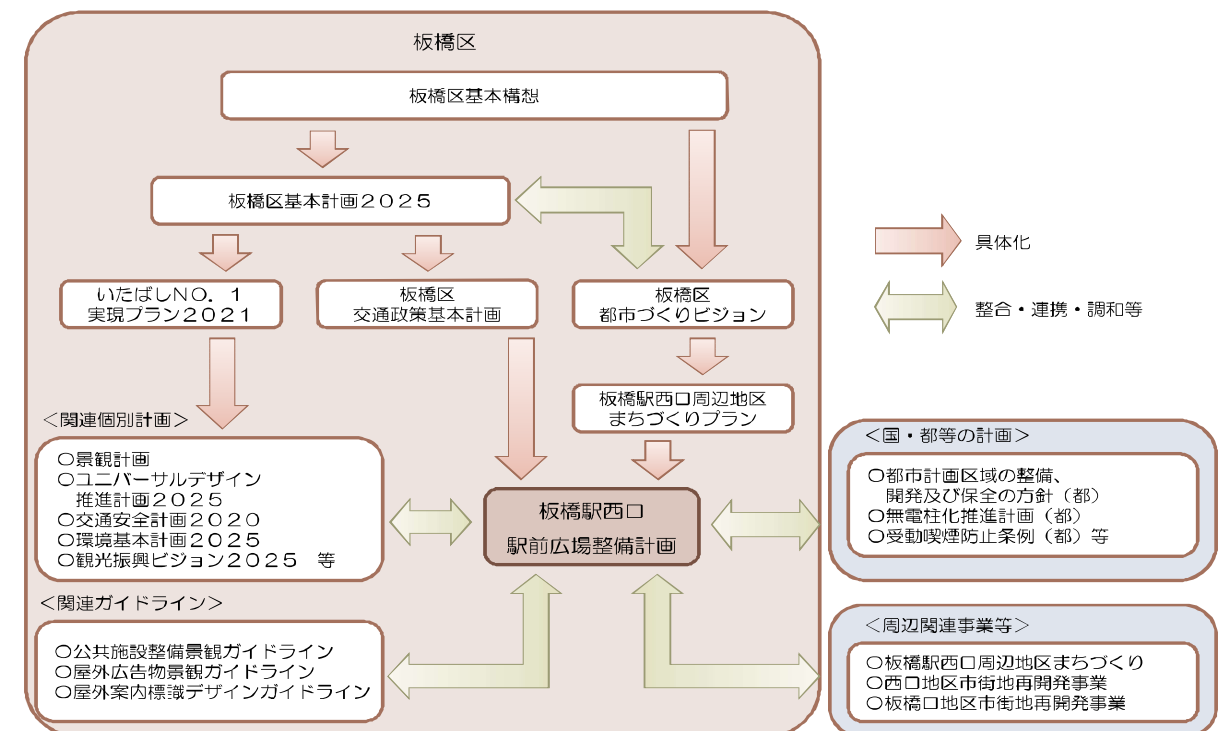
一方、駅前広場については整備から約50年が経過し、各施設が老朽化していると共に、交通処理や歩行者の安全性、利便性等の交通結節機能の課題とにぎわい・憩い・交流といった広場機能の不足といった課題がある。

区では、都市の質を戦略的に高めるための将来の都市づくりの方針を取りまとめた『板橋区都市づくりビジョン』を平成30年3月に策定し、『「東京で一番住みたくなるまち」として評価されるまち』をめざし、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の国際目標と軌を一にしてまちづくりを進めている。

このような区のまちづくり方針等に基づき、板橋口地区と西口地区、2つの再開発と調和を図りながら駅前広場を再整備し、区の玄関にふさわしい個性と魅力ある市街地を形成するため、駅前広場整備方針や整備内容をまとめた整備計画を策定する。

1-2. 計画の位置づけ

板橋駅西口駅前広場整備計画は「板橋駅西口周辺地区まちづくりプラン（平成27年3月）」の具体化の取り組みの一つとして位置づけ、ハード面・ソフト面の具体的な方向性を定める各設計前の基本計画として位置づける。



2. 駅前広場整備の方向性

2-1. 駅前空間の将来像

板橋駅西口駅前広場のイメージ

【板橋の玄関にふさわしい、安全でにぎわいのある駅前広場】

2-2. 整備方針

地域まちづくりの上位計画である「板橋駅西口周辺地区まちづくりプラン」を基に「安心・安全」「にぎわい」「板橋区の玄関」の3つのキーワードを基本に、下のような駅前広場を整備する方針とする。

1) 安心・安全な駅前広場

- ・ 全ての人々が安心・安全に利用することができる歩車道整備
- ・ 他の交通手段との乗り換えしやすい駅前広場整備
- ・ 災害時に利用可能な施設・空間整備

2) にぎわいや憩いのある駅前広場

- ・ 周辺と一体となつてにぎわいを生み出すことができる空間創出
- ・ 身近なところで緑を感じることができる空間整備

3) 板橋区の玄関・顔にふさわしい駅前広場

- ・ 周辺景観と調和のとれた駅前広場整備
- ・ 板橋らしさ・旧中山道の趣きを感じることができる駅前広場整備

2-3. 検討項目

道路線形

1. 安全性の高い交通結節点の整備

- ・ 歩行者空間拡大による安全性向上
- ・ 歩車交錯が少なくなるような空間・機能配置

2. 交通結節機能・利便性の向上

- ・ 鉄道⇄バス・タクシーの乗り換え利便性の向上
- ・ 福祉車両乗り場の整備

3. にぎわい空間の創出

- ・ 再開発敷地内の広場と一体となつたにぎわい空間の創出
- ・ にぎわい空間を活用しやすい仕組みづくり
- ・ 災害時にも利用可能なオープンスペースの創出

4. 周辺景観と調和する板橋らしい空間づくり

- ・ 既成市街地や周辺再開発等周辺景観と調和した空間の整備
- ・ 板橋らしさや、旧中山道の歴史が感じられる落ち着いた色調

5. 駅前広場に必要な施設の整備

- ・ 区の玄関に求められる交通結節機能を満たす施設整備
- ・ 周辺まちづくりと合わせた広場機能、利便性の向上に資する施設整備

デザイン

利活用

施設

3. 道路線形について

「駅前広場整備の方向性」の3つの整備方針を基本とし、交通結節機能及び広場機能としての課題を踏まえ、以下のような道路線形（歩道と車道の構成）とする。

現在の課題

1. 安全上の課題

- ・駅前広場を無秩序に横断する歩行者が多い
- ・歩行者が新板橋駅方面に移動する際、駅前広場内で2回車道横断が必要

2. 利便性・バリアフリー上の課題

- ・バス停が駅から離れた位置に配置されている。
- ・福祉車両乗り場が整備されていない。

3. にぎわい空間の不足

- ・イベント等を開催できるような空間が少ない。
- ・空間の有効活用がされていない。

整備方針

1. 安全性の高い交通結節点の整備

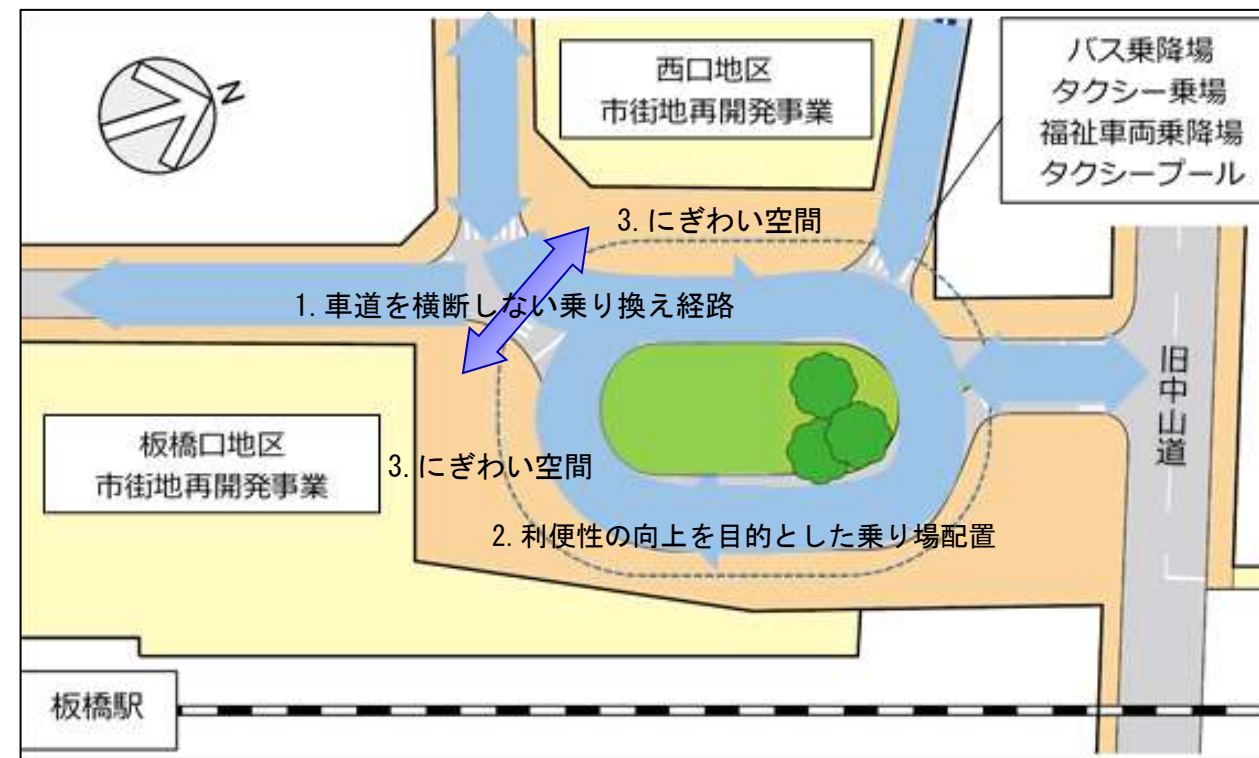
⇒車道を横断しない乗り換え経路の確保、または横断回数減少

2. 交通結節機能・利便性の向上

⇒利便性の向上を目的とした乗り場配置

3. にぎわい空間の創出

⇒魅力的でにぎわいと活気にあふれた空間を創出するため、周辺再開発広場と一体的にまちの広場を最も広く確保できるような効率的な空間構成とする



※修景施設及び特定施設(公衆便所・駐輪場・喫煙所)の配置等は検討中

4. デザインについて

駅前広場デザインコンセプト

駅前広場に関するアンケートや駅前広場検討部会において得られた駅前広場のデザインに関する意見を踏まえ、板橋駅西口駅前広場整備におけるデザインコンセプト（案）を以下のとおりとする。今後は、以下のデザインコンセプト（案）を基に板橋駅西口駅前広場デザイン案を検討する。

駅前広場
デザイン
コンセプト(案)

『歴史から紡ぐあたらしい板橋の顔』

～ 周辺まちづくりと一体となって調和を図り、街道の連続性を意識させるデザイン ～

区の玄関に
ふさわしい景観形成

周辺景観との調和

歴史的な背景と、
新しい街並みの融合

無彩色ではない、
落ち着いた色合い

自然素材の活用

■ 関連計画

板橋駅西口周辺地区まちづくりプラン ※1

- ・板橋区の玄関にふさわしい都市景観の形成
- ・街道の歴史を活かしつつ個性と統一性のある景観形成

■ これまでに収集した意見

**板橋駅西口周辺地区のまちづくり
具体化へ向けた検討報告** ※2

- ・自然調和要素や和的要素が感じられる空間
- ・景観連続性の向上や歩行者空間のゆとりの確保
- ・むすびのけやきのシンボル性を維持

板橋駅西口駅前広場に関するアンケート ※3

- ・歴史的イメージ（約52%）：現代的イメージ（約35%）
- ・色彩豊かなイメージ（約62%）：モノトーンイメージ（約25%）

まちづくり勉強会駅前広場検討部会 ※4

- ・モノトーンではなく、緑が活きる落ち着いた色合い
- ・宿場町とわかるような色合い
- ・シェルターなど立体的な物については歴史的な意匠、自然素材の主張が感じられやすいものが好ましいという意見が多かった
- ・舗装パターンなどの平面的な物については沿道建物との調和を重視し、デザインで主張しすぎないシンプルなものが好ましいという意見が多かった

■ 駅前空間の将来像

板橋駅西口駅前広場のイメージ
【板橋の玄関にふさわしい、安全でにぎわいのある駅前広場】

■ 周辺景観資源

旧中山道



板橋



史跡公園



板五米店



むすびのけやき



近藤勇墓所



※1：平成27年3月 板橋区

※2：令和元年5月 板橋駅西口周辺地区まちづくり勉強会から板橋区への提言

※3：令和元年7月26日～8月6日の期間で用紙配付・板橋区HP・携帯電話アンケートサイトによって実施

※4：地元町会、商店街、公募区民参加によるまちづくり勉強会の内、駅前広場に関する検討を行うための検討部会

5. 駅前広場の利活用について

1. 個性あふれるにぎわいや魅力の創出

- ・まちづくり勉強会と連携した子どもから大人まで参加できるイベントの検討
- ・むすびのけやきを活かした新たな魅力創出の検討
- ・駅前広場歩車道空間・再開発広場空間の一体利用の検討

2. 活用しやすい仕組みづくりの検討

- ・利活用する際の手続き簡略化・簡素化の検討
- ・まちのにぎわい持続を目的としたエリアマネジメント組織による活用の検討



6. 施設について

区の玄関にふさわしい個性と魅力ある駅前広場として、また高齢者、障がい者等を含むすべての人にとって利用しやすい駅前広場としていくために、駅前広場及び周辺状況を考慮し、将来の駅前広場に必要な施設を継続して検討していく。

7. 今後の進め方

駅前広場の整備に向けて下図のようなスケジュールで検討・設計を進めていく。

